

1 趣旨（行政活動の評価に関する条例（以下、「条例」））（資料1-2 政策評価・施策評価基本票要旨 1ページ）

県が条例に基づき、令和2年度に実施した、「宮城の将来ビジョン」と「宮城県震災復興計画」の政策・施策・事業の成果等を対象として、県民にわかりやすく説明するために作成したものの

2 評価の対象及び方法（資料1-2 政策評価・施策評価基本票の要旨 3ページ）

	計画期間を通じた政策評価の総括	政策評価	施策評価
評価対象	「宮城の将来ビジョン」, 「宮城県震災復興計画」のこれまでの計画期間を通じた成果等	「宮城の将来ビジョン」, 「宮城県震災復興計画」及び「宮城の将来ビジョン・震災復興・地方創生実施計画」で定めた政策及び施策	「宮城の将来ビジョン」, 「宮城県震災復興計画」及び「宮城の将来ビジョン・震災復興・地方創生実施計画」で定めた施策及び事業
評価項目	計画期間を通じた目標指標の実績値の推移と傾向を踏まえた全体の評価	○政策の成果 ○政策を推進する上での課題と対応方針	○施策の成果 ○施策を推進する上での課題と対応方針
評価基準	宮城の将来ビジョンの14年間と宮城県震災復興計画の10年間における目標指標の推移と傾向	○施策の成果等	○目標指標等の達成状況 ○県民意識 ○社会経済情勢等 ○事業の実績及び成果

※令和3年度の評価は、「宮城の将来ビジョン」と「宮城県震災復興計画」を対象とした評価が最終年度を迎えるに当たり、計画期間における目標指標の推移と傾向を踏まえ、計画期間を通じた評価を実施。

3 評価原案の結果（資料1-2 政策評価・施策評価基本票の要旨 5ページ～）

評価原案については下表のとおり ※（ ）は令和2年度の評価結果

計画名	項目	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	計
宮城の将来ビジョン	政策	2 (2)	10 (9)	2 (3)	0 (0)	14
	施策	4 (3)	21 (23)	8 (7)	0 (0)	33
宮城県震災復興計画	政策	2 (0)	5 (7)	0 (0)	0 (0)	7
	施策	8 (4)	15 (18)	0 (1)	0 (0)	23

4 令和2年度の評価結果から令和3年度の評価原案の区分に変動のあった政策・施策

宮城の将来ビジョン							
政策				施策			
政策番号	政策名	令和3年度 評価原案	令和2年度 評価結果	施策番号	施策名	令和3年度 評価原案	令和2年度 評価結果
1	育成・誘致による県内製造業の集積促進	概ね順調	概ね順調	1	地域経済を力強くけん引するものづくり産業の振興	順調	概ね順調
5	産業競争力の強化に向けた条件整備	概ね順調	概ね順調	12	宮城の飛躍を支える産業基盤の整備	やや遅れている	概ね順調
7	将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり	やや遅れている	やや遅れている	17	児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり	やや遅れている	概ね順調
9	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	概ね順調	順調	24	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	概ね順調	順調
10	だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	順調	概ね順調	25	安全で安心なまちづくり	順調	概ね順調
				26	外国人も活躍できる地域づくり	概ね順調	概ね順調
13	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	概ね順調	やや遅れている	30	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	概ね順調	やや遅れている

宮城県震災復興計画							
政策				施策			
政策番号	政策名	令和3年度 評価原案	令和2年度 評価結果	施策番号	施策名	令和3年度 評価原案	令和2年度 評価結果
2	保健・医療・福祉提供体制の回復	順調	概ね順調	1	安心できる地域医療の確保	順調	順調
				2	未来を担う子どもたちへの支援	順調	概ね順調
				3	だれもが住みよい地域社会の構築	順調	概ね順調
5	公共土木施設の早期復旧	概ね順調	概ね順調	2	海岸、河川などの県土保全	概ね順調	やや遅れている
7	防災機能・治安体制の回復	順調	概ね順調	1	防災機能の再構築	順調	順調
				2	大津波等への備え	順調	順調
				3	自助・共助による市民レベルの防災体制の強化	順調	概ね順調
				4	安全・安心な地域社会の構築	順調	概ね順調

5 将来ビジョンの14年間と震災復興計画の10年間における政策評価の総括

番号	政策名	計画期間を通じた政策評価結果の推移 (H22年度分の評価は震災により休止)													評価の総括(概要)
		色分けの区分													
		順調	概ね順調			やや遅れている		遅れている							
		年度													
		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
宮城の将来ビジョン															
1	育成・誘致による県内製造業の集積促進														製造業の集積が進展を見せた。引き続き食料品製造業の販路回復の促進が必要。
2	観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化														サービス産業が大きな伸びを見せた。今後はコロナ後を見据えた対応が必要。
3	地域経済を支える農林水産業の競争力強化														農林水産物の産出額で成果があった。今後は一次産業の人材不足への対応が必要。
4	アジアに開かれた広域経済圏の形成														観光産業が大きな伸びを見せた。今後は貿易額等でのコロナ後を見据えた対応が必要。
5	産業競争力の強化に向けた条件整備														産業基盤の整備が進展を見せた。今後は産業人材の確保の促進が必要。
6	子どもを生み育てやすい環境づくり														社会全体での子育て機運の醸成のための環境づくりへの対応が必要。
7	将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり														児童生徒一人ひとりが社会を生き未来を切りひらく力を育む教育環境づくりへの対応が必要。
8	生涯現役で安心して暮らせる社会の構築														認知症対策の促進が図られた。引き続き生涯を通じて健康で安心して暮らせる社会づくりが必要。
9	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実														地域の実情に応じた地域生活の充実が図られた。引き続き公共交通の利用の促進が必要。
10	だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり														安全・安心のまちづくりが進展した。引き続き多文化共生社会の更なる促進が必要。
11	経済・社会の持続的発展と環境保全の両立														再生可能エネルギーの導入等が促進された。今後は脱炭素社会の実現に向けた対応が必要。
12	豊かな自然環境、生活環境の保全														豊かな自然環境と生活環境の保全が図られた。今後は生態系の環境保全が必要。
13	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成														良好な景観の形成が進展した。今後は多様な主体と連携した社会資本整備・維持管理が必要。
14	巨大地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり														災害に強い県土づくりが進展した。引き続き大規模災害に対応したハード・ソフト両面の対策が必要。
宮城県震災復興計画															
1	被災者の生活再建と生活環境の確保														被災者の生活再建が図られた。今後は持続可能な生活環境の形成が必要。
2	保健・医療・福祉提供体制の回復														ハードの復旧は完了した。今後は心のケアなど被災者へのきめ細かな対応が必要。
3	「富県宮城の実現」に向けた経済基盤の再構築														ものづくり産業の復興が進捗した。今後は販路回復など各事業者へのきめ細かな支援が必要。
4	農林水産業の早期復興														生産基盤の復旧が概ね完了した。今後は人材の確保・育成への対応が必要。
5	公共土木施設の早期復旧														ハードの復旧は概ね完了した。今後は重点的な進行管理による一日も早い工事完了が必要。
6	安心して学べる教育環境の確保														ハードの復旧は完了した。今後は地域と連携した学校防災体制の構築の促進が必要。
7	防災機能・治安体制の回復														防災機能・治安体制の再構築が進んだ。今後は、より実効性の高い防災・治安体制の構築が必要。

6 宮城県地方創生総合戦略の評価結果について

目標 番号	基本目標	令和3年度 評価原案	令和2年度 評価結果	主な数値目標・重要業績評価指標（KPI）	
					達成度
1	安定した雇用を創出する	概ね順調	概ね順調	企業集積等による雇用機会の創出数（人）【累計】	A
				サービス業の付加価値額（億円）	A
				仙台空港乗降客数（千人）	C
2	宮城県への移住・定住の流れをつくる	概ね順調	概ね順調	「みやぎ移住サポートセンター」を通じたUIJターン就職者数（人）	A
				県立高等学校生徒のインターンシップ実施校数（%）	C
3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	やや遅れている	やや遅れている	保育所等利用待機児童数（人）	C
				育児休業取得率（男性）（%）	C
				学校教育を支援する「みやぎ教育応援団」の登録数（個人）（人）	A
4	時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る	概ね順調	概ね順調	地域再生計画の認定数（件）【累計】	A
				1人当たり年間公共交通機関利用回数（回）	B

7 政策評価・施策評価に関する今後の予定

時期	内容
6月8日以降	行政評価委員会へ諮問，基本票等の公表，パブリックコメントの実施
6月15日	第1回政策評価部会
7月中旬	第2回政策評価部会
8月中旬	答申・評価の決定
9月	評価結果を9月定例県議会へ報告